

さぎの湯温泉

さぎの湯は、安来市の飯梨川に位置する天然温泉です。伝説によると、この温泉は白鷺が怪我をした脚を癒すために入湯しているのが見つかったのがきっかけで、8世紀に発見されたとのこと。戦国時代（1467-1615）には、近く月山富田城の歴代大名が屋敷の浴場として利用しました。しかし、1666年の大洪水により、温泉や飯梨川沿いの多くの建物が破壊され、この温泉も忘れ去られました。約100年前にこの温泉の源泉が再発見され、その場所に温泉が自慢の日本の伝統的な旅館が建てられました。この旅館の玄関は、かつて出雲大社の近くにあった130年前の農家の屋敷を改修したものです。慎重に解体され、現在の場所に運ばれ、再建されたのです。その後、近くに他にもいくつかの旅館ができ、世界的に有名な足立美術館の近くに小さな温泉街が形成されました。